

提案書目次	記載依頼事項	評価軸	配点
1 全体概要			
1.1 システム全体像	○提案するシステムの概要図を利用者環境を含めて図示し、システムの全体像を提示すること。	○システム化の対象範囲を災害対策本部運営全体とし、システム化すべき業務内容が明確に示され、県の要求水準を満たしているかを評価する。 ○事業者より提案された内容を精査し、評価要素を考慮した上で、特に優れていると判断された事業者については、高評価とする。 ○本システムの全体像が示されており、システム利用者環境の変化等にも配慮しているかを評価する。 ○現行システムから新しいシステムへシームレスに移行する方法について、具体的に記載されており有効と判断される場合は高評価とする。 ○将来的な利用環境（端末・NW等）に係る配慮について、有益と判断される場合は高評価とする。	120
1.2 システムの基本方針・特徴	○仕様書に記載のシステム基本方針を踏まえて、提案するシステムの機能要件や構成要件の特徴について提示すること。	○県を取り巻く環境、背景と目的が十分に理解されており、重視すべきポイントが県の方針と合致している場合には高評価とする。 ○県の背景と目的が十分に理解されており、提案する機能要件や構成要件について県の業務に適合しているかを評価する。 ○法令改正等により、報告様式が変更となった場合に県の負担なしにパッケージ側で対応可能な場合、高評価とする。	
1.3 期待効果	○提案するシステムを導入した場合にどのような期待効果があるのかについて具体的に提示すること。	○提案するシステムを導入した場合の効果が県の課題と紐づけて期待効果が示されているかを評価ポイントとする。 ○事業者より提案された内容を精査し、評価要素を考慮した上で、特に優れていると判断された事業者については、高評価とする。	210
1.4 提案するシステムの導入実績	○提案するシステムの国及び地方自治体における導入実績について提示すること。ただし、提案するシステムがパッケージではなく、部品を流用する場合は活用範囲を含めて具体的に提示した上で導入実績とすること。 ○団体名、システム名、システム内容、構築開始年度、稼働開始年度を記載すること。 ○導入事例のうち、本業務と同じ機能を有する範囲を提示すること。 ○契約締結が直近5年以内について提示すること。	○本業務に類似したシステムの実績を有しているかを評価する。 ○他自治体で開発を行った機能を流用するなどの提案がなされている場合は高評価とする。	
1 全体概要に対する評価点			330

提案書目次	記載依頼事項	評価軸	配点
2 機能要件			
2.1 体制管理	<ul style="list-style-type: none"> ○仕様書に示す要件等を踏まえて画面を用いた具体的な提案を行うこと。 ○本部体制の管理に係る支援機能について記述すること。 ○災害発生時の初動期におけるシステムの役割と機能について記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○仕様書記載の要求水準に加え、具体的かつ実現性の高い場合は高評価とする。 ○発災直後に必要な対応について、機能が充実しており、有益であると判断できる場合は高評価とする。 	120
2.2 被害状況・活動状況入力の容易性	<ul style="list-style-type: none"> ○仕様書に示す要件等を踏まえて画面を用いた具体的な提案を行うこと。 ○被害情報及び活動情報を迅速に収集するための工夫について記述すること。 ○被害情報及び活動情報を入力する際の入力負荷の軽減につながる機能について、入力するシチュエーションとともに記述すること。 ○収集した被害情報及び活動情報を分かりやすく整理するための機能について記述すること。 ○市町村の入力の利便性について記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○仕様書記載の要求水準に加え、具体的かつ実現性の高い場合は高評価とする。 ○発災直後の被害情報収集における迅速な情報収集手段を機能として有している場合は高評価とする。 ○被害情報及び活動情報を入力するシチュエーションを理解し、必要最低限の情報を段階的に入力できるような機能を有している場合は高評価とする。 ○GIS機能やクロノロジー機能について、想定される状況を例示し、有効な利用方法が具体的に提示されている場合は高く評価する。 ○「未確定情報」や「要請情報」等、現行システムにおいて収集できない情報の収集及び整理について、具体的な方法が提示されており、かつ有効であると判断できる場合は高評価とする。 ○市町村が利用しているLGWAN系NW端末から入力できる場合は高評価とする。 	150
2.3 クロノロジー機能	<ul style="list-style-type: none"> ○提案するシステムにおけるクロノロジー機能について仕様書に示す要件等を踏まえて具体的な提案を行うこと。 ○「未確定情報」、「確定被害情報」、「対応状況」等の各種個別の画面で入力した情報をクロノロジー画面でわかりやすく表示させる方法について記述すること。 ○クロノロジー画面で情報を入力する方法について記述すること。 ○クロノロジー機能において、通報情報、被害情報、対応状況等の情報の関連性をわかりやすく整理する方法について記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○仕様書記載の要求水準に加え、具体的かつ実現性の高い場合は高評価とする。 ○被害情報及び活動情報を入力するシチュエーションを理解し必要最低限の情報を段階的に入力できるような機能を有している場合は高評価とする。 ○複数の個別画面で入力した情報を要約するなど、わかりやすく表示させる機能を有している場合は高評価とする。 ○被害等に基づかない共有情報等をクロノロジー画面にて入力するなどの機能を有しているか評価する。 ○通報情報、被害情報、対応状況等の情報を個別表示するのではなく、関連性をもったクロノロジー画面での表示（各情報をツリー表示させる等）ができるか評価する。 	210
2.4 現場からの報告	<ul style="list-style-type: none"> ○仕様書に示す要件等を踏まえて画面を用いた具体的な提案を行うこと。 ○災害現場などから現場報告を行うための機能について記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○仕様書記載の要求水準に加え、具体的かつ実現性の高い場合は高評価とする。 ○現場からの情報入力の必要性を理解し、携帯型端末を用いた簡便かつ迅速に入力できる機能を有している場合は、高評価とする。 ○オフライン入力等の機能を有している場合は、高評価とする。 	90

提案書目次	記載依頼事項	評価軸	配点
2.5 付加価値をもった 情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ○仕様書に示す要件等を踏まえて画面を用いた具体的な提案を行うこと。 ○本部への報告や、県への報告等、各種報告書作成における配慮（職員負荷軽減、付加価値を持った報告書）について記述すること。 ○県民や報道機関へ情報分析や対応状況を踏まえた付加価値をもった情報提供を行うための機能（緊急速報メールやSNS等）について記述すること。 ○緊急速報メールやSNS等の入力時に誤発信（訓練時の誤発信や、内容の誤り等）を抑止する機能について記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○仕様書記載の要求水準に加え、具体的かつ実現性の高い場合は高評価とする。 ○地図等を活用した分かりやすい情報提供機能について、有効性が高いと判断される場合は高評価とする。 ○報告にあたっての職員負荷軽減につながる有益な機能を有している場合は高評価とする。 ○緊急速報メールやSNS等への配信について簡便かつ有効な機能を有していると判断される場合は高評価とする。 ○緊急速報メールやSNS等の入力時に誤発信を抑止する機能について、有益であると判断される場合は高評価とする。 	120
2.6 システム被災時対応	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模災害時にシステムも同時被災した場合の対応方針について提示すること。 ○大規模災害時に発災直後はシステムが利用できない事を想定し、紙運用からシステムに運用を切り替える際の手順や利用する機能について提示すること。 ○災害対応中にシステムが利用できなくなった場合の対策について提示すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的かつ実現性の高い場合は高評価とする。 ○早期復旧に向けた具体的な計画が策定されている場合には高評価とする。 ○システム利用時と紙運用時のギャップが少なく、シームレスな移行が可能と考えられる場合には高評価とする。 ○災害対応中にシステムが利用できなくなった場合に、具体的かつ有効な対策がとられている場合に高評価とする。 	90
2.7 システム連携	<ul style="list-style-type: none"> ○仕様書に記載されている他システムとのシステム連携に係る方式を提示すること。 ○市町村が導入している防災情報システム（徳島市、美馬市及び板野町）との連携についての対応方針、具体的な連携方式を提示すること。 ○消防庁被害情報収集・共有システムとの連携についての対応方針を提示すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的かつ実現性の高い場合は高評価とする。 ○他システムへの影響や負担を最小限にできることに加え、人口規模や住宅数等の違いによる被害情報量の差異を考慮した連携方法が提案されている場合は高評価とする。 ○市町村が導入している防災情報システム（徳島市、美馬市及び板野町）との連携について、具体的かつ有効な対策がとられている場合に高評価とする。 ○消防庁被害情報収集・共有システムとの連携について、具体的かつ有効な対策がとられている場合に高評価とする。 	120
2 機能要件に対する評価点			900

提案書目次	記載依頼事項	評価軸	配点
3 システム基盤			
3.1 システム構成	<p>○仕様書に示す要件等を踏まえ、災害に強いシステム構成とするためのシステム構成図や特徴について提示すること。</p> <p>①クラウド環境構成概要図</p> <p>※必要となる仮想環境の構成について具体的に記載すること。</p> <p>※クラウド環境が設置されているデータセンターについて記載すること。</p> <p>②「システム環境一覧」</p> <p>※利用する環境（データセンターの仕様も含む）のスペックを具体的に記載すること。</p> <p>③「ソフトウェア一覧」</p> <p>※環境単位に記載し、環境との数量の関係を明確すること</p> <p>○サイジングにおける条件などを明確にし、条件変更にもなう構成変更の考え方について記載すること。</p> <p>○その他制限事項について記述すること。</p>	<p>○仕様書記載の要求水準に加え、具体的かつ実現性の高い場合は高評価とする。</p> <p>○事業者より提案された内容を精査し、評価要素を考慮した上で、特に優れていると判断された事業者については、高評価とする。</p> <p>○クラウド環境が設置されているデータセンターがティア4認定を受けている場合は、高評価とする。</p> <p>○システムの全体構成とハードウェア、ソフトウェア一覧が提示されており、それら機器の選定、サイジングの根拠が具体的に明示されている場合、高評価とする。</p> <p>○クラウド環境が設置されているデータセンターについて、日本データセンター協会のティア認定と比較し、充分と見なせる対策が実現できているか評価する。</p>	240
3.2 性能要件/信頼性要件	<p>○仕様書に示す要件等を踏まえて、性能目標を明らかにし、性能を確保する上での前提条件、対策、性能検証の方法、チューニング技法について記述すること。</p> <p>○仕様書に示す要件等を踏まえて、システムの可用性やデータの信頼性を確保するために必要な構成、冗長化方式、採用するソフトウェア等について記述すること。</p> <p>○クラウドサービス自体の障害発生時（AWS自体の障害等）の対応方針について記述すること。</p>	<p>○仕様書記載の要求水準に加え、具体的かつ実現性の高い場合は高評価とする。</p> <p>○事業者より提案された内容を精査し、評価要素を考慮した上で、特に優れていると判断された事業者については、高評価とする。</p> <p>○性能目標値が県の要件を満たしており、性能を担保するための対策が示されている場合、高評価とする。</p> <p>○性能検証、チューニング技法が具体的で有効であると認められる場合、高評価とする。</p> <p>○構成、冗長化方式等の信頼性に関する考え方及び方針について深く考慮されており、具体的な内容となっている場合、高評価とする。</p> <p>○利用するクラウドサービス自体の障害発生時の対応方針が、具体的な内容となっている場合、高評価とする。</p>	

提案書目次	記載依頼事項	評価軸	配点
3.3 拡張性要件	<p>○仕様書に示す要件等を踏まえて、以下の拡張性要件に対する具体的な対策について、本調達範囲のものと、範囲外に分けて記述すること。</p> <p>○大規模災害時のアクセス集中や利用者数の増加時に即時に拡張可能な仕組みについて、記述すること。</p> <p>○市町村・国との連携追加など、業務システムのプログラムの拡張性の考え方について、記述すること。</p> <p>○導入後のシステム改良対応について、対応内容及び計画を具体的に記述すること。</p>	<p>○仕様書記載の要求水準に加え、具体的かつ実現性の高い場合は高評価とする。</p> <p>○事業者より提案された内容を精査し、評価要素を考慮した上で、特に優れていると判断された事業者については、高評価とする。</p> <p>○提案内容が有効であると認められる場合、または、今後の危機管理体制の変更に伴い柔軟に対応できると思われる場合、高評価とする。</p> <p>○段階的な導入と未来のシステムイメージが具体的に示され、実効性が高いと認められる場合、高評価とする。</p> <p>○改良にかかる調整方法に具体性があり、実効性が高いと認められる場合、高評価とする。</p>	210
3.4 セキュリティ	<p>○仕様書に示す要件等を踏まえて、構築するシステムにおけるセキュリティ対策について記述すること。</p> <p>○操作ログの管理方法について、具体的に記述すること。</p>	<p>○仕様書記載の要求水準に加え、具体的かつ実現性の高い場合は高評価とする。</p> <p>○事業者より提案された内容を精査し、評価要素を考慮した上で、特に優れていると判断された事業者については、高評価とする。</p> <p>○仕様書に示す要件等で提示したセキュリティ要件の条件を満たし、さらに、セキュリティ対策の有効性が高いと認められる場合、高評価とする。</p> <p>○内部統制の証憑となる操作ログについて、ログ取得、ログ解析、ログ消失防止、ログ改ざん防止等の管理方法が、具体的で実効性が高いと認められる場合、高評価とする。</p>	
3 システム基盤に対する評価点			450

提案書目次	記載依頼事項	評価軸	配点
4 システム構築			
4.1 プロジェクト管理	○仕様書に示す要件等を踏まえて、採用するプロジェクトマネジメント手法について説明し、マネジメント計画、プロセス、仕組みや採用するツール、管理ドキュメント等について記述すること。	○PMBOK等、国際標準のプロジェクト管理手法に求められる要件を基準とする。 ○時間の制約やパッケージ適用の手法、要件の進め方など県にとって特に有効であり、特に優れていると判断された事業者については、高評価とする。 ○プロジェクトマネジメント手法やプロセス、仕組み等が具体的に有効であると認められる場合、高評価とする。 ○採用するツールやドキュメントが具体的に提示されており、実効性、有効性があると認められる場合、高評価とする。	150
4.2 プロジェクト体制	○システム構築における、プロジェクト体制及び担当者の防災関連システム構築における実績について記述すること。 ○プロジェクト推進における中心人物（会議の8割を出席し、メインスピーカーとなる人物）について記述すること。	○システム構築におけるプロジェクト実施体制、担当者配置計画及び担当者の役割・権限・実績・専従度について、具体的に示されている評価する。	90
4.3 品質管理	○仕様書を踏まえて、品質を確保するため、具体的な品質管理方法について、記述すること。 ○品質管理に関して、貴社の考え方、実施方法、体制、定量的な評価方法、具体的な目標等を記述すること。	○パッケージ適用の手法、独自の品質作り込み工程など、県にとって有効であり、特に優れていると判断された事業者については、高評価とする。 ○本稼働時の品質を確保するための品質管理方法、品質管理体制、品質管理技法等が、具体的に提示されており、実効性が高いと認められる場合高評価とする。 ○ミスの防止方法や社内サポート体制について、具体的に提示されており、実効性が高いと認められる場合は、高評価とする。	150
4.4 スケジュールと工程管理	○基本設計工程、詳細設計工程、開発工程から運用保守工程まで本プロジェクト全体のスケジュールについて、現時点で記述可能なレベルで具体的な作業項目単位でのスケジュール案を記述すること。 ○クリティカルパスやマイルストーンなど進捗管理の上で重要なポイントや時期について記述すること。 ○各工程の成果物について具体的に記述すること。 ○本システム開発及び移行、付帯作業、その他必要な作業について記述すること。 ○各工程内のタスクにおける進捗管理の考え方、定量的な管理方法等を記述すること。	○事業者側の実施工程が全体スケジュールとの整合性をもって、詳細スケジュールまで想定されており、実現性の高い提案であれば高評価とする。 ○県の実施スケジュールも合わせて記載されており、実現性の高い提案であれば、高評価とする。 ○各工程の完了判定条件やそのルールが明確になっており、スケジュールと整合性があるか評価する。 ○各成果物の目次が明確になっており、遅延時の対処方法なども明確になっている場合は高評価とする。 ○進捗管理のための数値目標をタスクの種類別に示している等、高い進捗管理レベルが記述されていれば、高評価とする。	120

提案書目次		記載依頼事項	評価軸	配点
4.5 要件定義工程の進め方		○仕様書を踏まえ、パッケージを県に適用するにあたってフィット&ギャップ分析の進め方、成果物等について、どのように実施するのかを具体的に記述すること。 ○ギャップが想定以上であった場合の対処方法、解決方法等について記述すること。 ○県との協議日程や具体的な協議テーマを一覧で記述すること。	○フィット&ギャップの進め方が具体的に提示されており、有効であると認められる場合、高評価とする。 ○ギャップが想定以上であった場合に、具体的な対処方法や解決方法が提示されており、県に不利益を及ぼさず適切な対応が提案されている場合、高評価とする。 ○全体スケジュールとの整合性をもって十分考慮された内容であれば高いレベルのものとして高評価とする。	90
	4 システム構築に対する評価点			600

提案書目次	記載依頼事項	評価軸	配点
5 運用保守			
5.1 運用保守の業務内容	<p>○仕様書の運用保守要件を理解し、貴社が考える運用保守の業務内容を記述すること。</p> <p>○問合せ対応にかかる業務フローと一次回答までの目標時間（営業日数）を提示すること。</p> <p>○運用作業について、作業項目（各種申請時対応、チューニング等）の一覧とそれぞれの業務フローを提示すること。</p> <p>○運用保守に係るサービスレベルの基本的考え方を記述すること。</p> <p>○保守サポートの中で対応する作業内容について記述すること。</p> <p>○運用計画の作成手順について記述すること。</p> <p>○契約終期における引き継ぎ業務の内容について記述すること。</p>	<p>○仕様書 の記載内容を実現する内容が提案書に記載されているかを評価ポイントとする。</p> <p>○問合せ対応の流れと早急な対応が実現できるか評価する。と判断できる場合は高評価とする。</p> <p>○システムにおけるセキュリティリスク情報の入手、パッチ適用の要否、各種バージョンアップの判断等の業務フローについて具体的に示されていると判断できる場合は高評価とする。</p> <p>○死活、性能及びセキュリティ等の監視業務について、体制及び手順について具体的に示されていると判断できる場合は高評価とする。</p> <p>○軽微な改修は保守サポートの中で実施するなどの本県にとって有益な提案がなされている場合は、高評価とする。</p> <p>○保守担当者には本システムの開発を担当したSEが配置されている場合、高評価とする。</p>	150
5.2 インシデント及び障害対応	<p>○インシデント及び障害発生時において、体制及び発生規模に応じた対応について記述すること。</p> <p>○インシデント及び障害対応方針・手法について下記の点を考慮して提示すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一連の障害対応のプロセス ・障害対応体制と各責任者 ・緊急時対応の迅速さの確保 ・開発元に対するエスカレーション手順 ・受託者社内でのエスカレーション手順と関係部署 ・障害一次切り分け手段 ・障害影響範囲の見極めと障害が影響する関係者への周知方法 ・問い合わせ対応 ・障害復旧処理 ・障害原因究明と再発防止 ・障害報告 など <p>○再委託を想定している業務がある場合の、受託者への連絡体制と受託者内部の責任体制について提示すること。</p> <p>○災害発生時の対応手順及び訓練等の実施内容について掲示すること。</p>	<p>○インシデント発生時における対応方法が具体的に示されている。</p> <p>○想定される障害規模に応じて、体制や対応方法が具体的に示されている。</p> <p>○インシデント及び障害発生時の調査や原因分析の方法が具体的に示されている。</p> <p>○本システム障害発生時の障害原因究明と障害解消に向けた対応（体制・報告・再発防止等）の手法が具体的に説明され、その実行性が高く、かつ県にとって有益な内容であるか評価する。</p> <p>○本システム障害時の復旧支援が具体的に説明され、かつ県にとって有益な内容であるか評価する。</p> <p>○障害対応時の関係者（県、再委託先、メーカー等）のエスカレーション手順、関係者の対応内容及び受託者の責任体制が具体的に説明され、県にとって有益な内容であるか評価する。</p> <p>○再委託先がある場合でも、責任体制が明確であるか評価する。</p>	150
5.3 業務の引継ぎに関する事項	○業務の引継ぎの際の対応内容について記述すること。	○システム構築後における、将来のシステム移行時の支援作業（引継書・設定内容・データ移行・QA対応）が具体的に示されていると判断できる場合は高評価とする。	90

提案書目次	記載依頼事項	評価軸	配点
5.4 改修	<p>○本業務委託における改修に関して、具体的な実施内容、貴社と県の役割分担について記述すること。</p> <p>○法令改正に伴う対応や他県で開発した先進機能の導入について、パッケージを採用することにより、本業務委託の範囲として追加費用なしに対応可能な内容か、どのような内容では追加費用（仕様書に記載の改修に係る工数として10人月／5年間を利用する場合も含む）が必要となるかについて記述すること。</p>	<p>○改修に係る具体的な実施内容、役割分担が明確で、県の予算要求に向けた負担が軽減される場合は高く評価する。</p> <p>○法令改正に伴う対応や他県で開発した先進機能の導入において、県の追加費用が不要な範囲が大きい場合は高く評価する。</p>	120
5.5 研修	<p>○本業務委託における研修（移行時及び運用開始後の年次研修）に関して、具体的な実施内容、貴社と県の役割分担について記述すること。また、想定する研修スケジュールも記述すること</p> <p>○作成するマニュアルについて、具体的な内容と市町村の利用者が容易に理解できる工夫、改修や利用状況変更等に伴うマニュアル改定に係る対応について記述すること。</p>	<p>○仕様書の主旨を踏まえ、研修における考え方及び実施内容、役割分担、スケジュールが適切で具体的な提案がされている場合は高評価とする。</p> <p>○運用後の定着化に向けた施策や仕組み（機能）が、具体的に提案されている場合は高評価とする。</p> <p>○マニュアルに係る対応方針について、県にとって有益と考える内容が提案されている場合は高く評価する。</p>	90
5 運用保守に対する評価点			600

提案書目次	記載依頼事項	評価軸	配点
6 追加提案			
6.1 追加提案	○仕様書上に記載はないが、県にとって有益であると考えられる内容について追加費用なしで提案すること。本業務が災害時の県民の命を預かる業務であることを踏まえ、構築から運用保守まで含めた業務量と経費を抑える工夫や追加機能、組織の意思決定をサポートするツールや手法などを提示すること。 なお、追加提案で提示したものは評価に関わらず、すべて対応すること。	○追加提案内容が県にとって有益であり、特に優れているか評価する。 ○県にとって有益であり、特に優れていると判断した追加提案を60点満点で評価し、最大2つまで評価する。	60
			60
6 追加提案評価点			120
提案書評価点 合計			3000